

# りそな外為レポート

## りそな WEEKLY COLUMN

### りそな外為レポート

#### 今週末は米雇用統計 (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 武富 龍太

**今週のドル円予想レンジ 106.00 ~ 107.00**

### りそなWEEKLY COLUMN

#### 統計データでだまされないように (P3)

総合資金部 市場トレーディング室  
カスタマーディーラー 中里 信介

- 統計データはマーケットと切り離せない
- データ・リテラシーを高めるために注意すべき5つの点
- データは公平に、判断で個人差を出しましょう。

2021/3/1

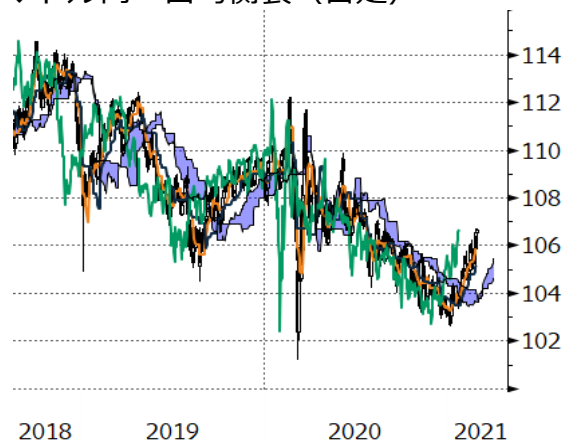
# りそな外為レポート

## 今週末は米雇用統計

今週のドル円予想レンジ **106.00 ~ 107.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

### ◆ドル円一目均衡表 (日足)



### ◆為替相場のすすめ

今週末は米雇用統計。3月に発表される2月分雇用統計は“市場予想比上振れやすい”という過去データが存在する。直近20年間で、市場予想対比上振れが14回・下振れが6回、上振れ確率70%である。これは、月別でみると12ヶ月中1位の上振れ確率である。また、直近10年に限ると、なんと8回も上振れている。

外部環境に目を向けると、ワクチン接種の進展やコロナ新規感染者数のピークアウトから経済の失速リスクは後退。米大規模財政政策への期待やFRBによる金融緩和解除への慎重姿勢から景気の回復期待は上昇している。

“上振れの雇用統計”でも、FRBの緩和継続姿勢は未だ不変であろうが、リフレから金融正常化へ一歩前進することを肝に銘じておかなければならない。

(カスタマーディーラー 武富龍太)

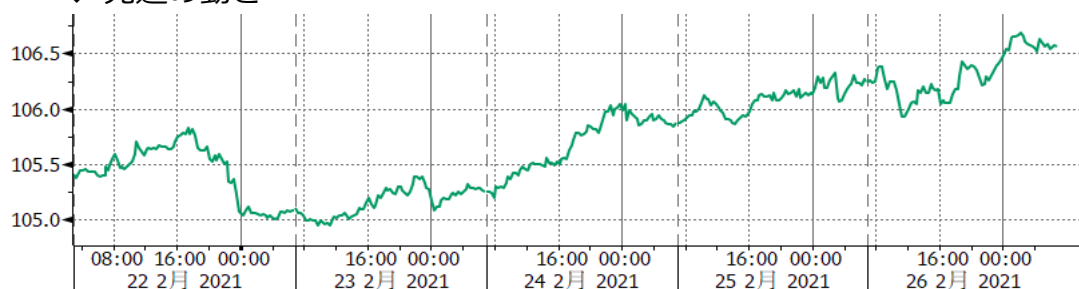
### ◆ 今週の日程

1日(月) 米 2月ISM製造業	3日(水) 米 米地区連銀経済報告
2日(火) 日 20/4Q 法人企業統計調査	4日(木) 米 1月製造業受注
2日(火) 欧 2月CPI	5日(金) 中 全人代
3日(水) 米 2月ADP雇用統計	5日(金) 米 2月雇用統計
3日(水) 米 2月ISM非製造業	5日(金) 米 1月貿易収支

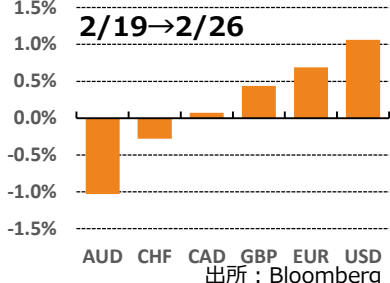
### ◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 2月26日(金) 106.57円 VS 3月5日(金)

東京								大阪			埼玉					
井口	中根	石川	湊	小新	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	小林	津田	石井	佐藤
↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑

### ◆ 先週の動き



### 主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/3/1

# りそな WEEKLY COLUMN

## 統計データでだまされないように

- 統計データはマーケットと切り離せない
- データ・リテラシーを高めるために注意すべき5つの点
- データは公平に、判断で個人差を出しましょう。

りそな銀行 総合資金部 市場トレーディング室  
 カスタマーディーラー 中里 信介

マーケットには非常に多くのデータがあふれています。相場データには、高値、安値、終値などの時間によって区切られたデータや、買い気配・売り気配などの板データなどがあります。また、マーケットを動かす要因となることが多い、雇用統計などを代表とした経済指標データは、各種機関の調査による統計データです。さらに、これらのデータは情報を効果的に伝えるため、様々なチャートや表として視覚データにされています。我々ディーラーは、これらの情報から必要であると判断した情報を拾い、自らのポジションを構築するほか、お客様にも情報展開していきます。しかし、これらのデータは往々にして発信者の意思（それが意図的かどうかにかかわらず）が入ってしまうケースがあります。そこで、今回は改めてデータ・リテラシーを高めるために、データを見る際に注意すべき点を紹介していきます。

### 1. 誰がそういつているか（データの出所に注意）

データには歪みが発生していることが多いため、データ出所の意図や目的を考える必要があります。また、そこに使われている統計的手法が間違っているケースや曖昧にされているケースがあり、都合の良いデータと悪いデータが使い分けされている可能性があります。「OKネーム」（権威ある筋）の威厳を借りた曖昧なデータの可能性を疑いましょう。

例) ○○研究所調べ ○○大学教授見解

⇒ **権威に頼って都合のいいデータを示していないか？**

### 2. どういう方法でわかったのか（調査方法に注意）

すべての対象を調査することが、現実的でないケースは多いです。そこで、一定のサンプルから全体の動向を推計する手法が一般的になりますが、必ずしも取得したサンプルが全体の動向を表しているとは限りません。サンプル取得に恣意性が働いている場合や、サンプル数が少ない場合などはデータを疑いましょう。

例) 支持率は○○%（○○誌読者100人調べ）

⇒ **○○誌読者が偏ったサンプルではないか？**



# りそな WEEKLY COLUMN

### 3. 足りないデータはないか（隠されている資料に注意）

算術平均（すべての値を合計して、総数で除した数値）と中央値（小さい値から大きい値へ並べた時に真ん中にある数値）が異なっていると考えられる場合であるにもかかわらず、そのどちらかが明記されていない場合は疑いましょう。

例）〇〇社の平均年収は600万円

⇒ **算術平均か、中央値か？**

### 4. 言っていることが違ってないか（問題のすり替えに注意）

もとの数字と結論との間で、すり替えが行われていないか疑いましょう。

例）「囚人を総維持費の高い収容所に収容するくらいなら高級ホテルへ宿泊させたほうが安上りだ。」

⇒ **収容所の総維持費を囚人当たりにした費用とホテル宿泊費を対比することは妥当か？**

### 5. 意味があるか（どこかおかしくないか）

仮定に基づいた論であっても、一部に統計に基づいた（ように見える）数字を用いていけば意味があるように見えてしまう。数字や仮定を疑いましょう。

例）「文章の読みやすさを図る尺度として、ルドルフ・フレッシュの公式を用いると、プラトンの『国家論』よりも小説のほうが1.5倍読みにくい。」

⇒ **ルドルフ・フレッシュの公式と言われればいかにもそれっぽいが、公式の使い方は妥当か？**

いかがでしたでしょうか？

紹介した5つの点は半世紀以上前に出版されている本より、抜粋させていただいたものです（一部筆者による加筆意識あり）。データを扱うことが多い身として、是非ともデータリテラシーを高めていきたいとともに、お客様へ提供させていただく情報は公平性を持っていきたいと思う所存です。

#### 【参考文献】

ダレル・ハフ著 『統計でウソをつく法 数式を使わない統計学入門』

